

# たぐみ

T A K U M I

No.021

平成20年1月●新春号  
信州名匠会

(題字：故 池田三四郎 前名誉会長)

## 平成19年度・第15回総会開催 5つの委員会設立で 役割を明確化

● 信州名匠会（宮本忠長会長）は6月27日、長野市のメルパルクNAGANOで第15回通常総会を開き、平成18年度事業報告、19年度事業計画などを承認しました。

19年度から総務、事業、交流、技術、編集の5つの委員会を組織し、それぞれの役割と権限を明確にして、会の運営にあたることなどが報告されました（2P参照）。このほか、出席回数の多い会員や、毎年恒例となった陶芸教室の優秀作品などを表彰しました。

総会後には、「善光寺の世界遺産登録に向けて」をテーマに、信州大学工学部社会開発工学科の土本俊和教授が講演し、周辺の伝統的建造物について説明。その後に東京大学生産技術研究所の藤森照信教授を交えたパネルディスカッションを行い、門前町として、周辺住民とともに育んできた善光寺の独自性などについて、議論を深めました。

懇親会では、建築全般に関わり、それぞれに高度な専門知識を持つ会員同士が、親睦を深めました。



あいさつする降幡副会長



パネルディスカッションで語り合う土本教授（左）と藤森教授



44名（懇親会には38名）が出席して開かれた総会



降幡副会長から14ツ星の認定証を受ける西澤嘉雄氏

# 信州名匠会各委員会組織構成

信州名匠会規約第43条に基づいて委員会の組織および構成が、先の理事会で議決され定められたことが、総会で報告されました。各会員は、各委員会に所属します。所属については3月に実施したアンケートでの回答を尊重し、理事会にて決定されました。

研修会の担当は、A学習：事業委員会、B見学・実習：技術委員会、C交流：交流委員会を基本に各委員会において企画・実施します。必要に応じて（研修旅行等）連携を図るものとします。

委員会	担当事業	委員長	副委員長	委員
総務委員会	1 通常総会の実施	大庭 修	高木 茂美	出澤 潔、 松下 重雄、 岡澤 元彰、 樋口 豊 平林 幹久、 水沢 仁亮、 渡辺 昌祺、 市村 友慎
	2 会運営の為の総務事項			
	3 会計、財務総括			
事業委員会	1 研修会の企画運営	西沢 広智	鎌倉 良収	池内 信二、 小川 明、 落合 一視、 倉橋 英太郎 竹村 利之、 東出 輝彦、 増田 幸雄、 宮入 恵 久保 敏幸
交流委員会	1 研修旅行の企画運営	西澤 嘉雄	五明 良平	鈴木 隆、 山本 耕平、 風間 洋二、 左右田 光 鳥羽 英夫、 宮下 恒夫、 山崎 慎一郎、
	2 懇親会等の企画運営			
技術委員会	1 プロジェクトの企画	堀 誠	高梨 廣男 西宮 登喜男 宮澤 郁夫 犬飼 栄治 岩井 秀樹	畔上 正、 荒井 和夫、 五十 嵐厚生、 伊藤 章 今村 利夫、 内野 修志、 海野 政也、 金田 勝良 熊田 信一郎、 黒崎 紀彦、 小林 清英、 坂戸 雄世 佐藤 啓三、 関 克弘、 塚田 廣実、 寺島 大士 常田 亀久夫、 中村 光敬、 永井 竜雄、 藤田 勇 前島 浅男、 宮入 豊一、 宮川 裕行、 望月 好一 矢島 建二、 柳沢 邦夫、 山崎 邦男、 山田 一忠 山中 袈裟嗣、 涌井 昭一、 犬飼 栄治、 太田 光雄 小山 功、 坂田 典之、 竹内 公夫
	2 後継者育成			
	3 材料・技術の研究、研鑽活動			
編集委員会	1 会報（匠）の発行	岸本 貴志	木下 豊 吉田 雅彦	内山 保、 中村 泉、 新井 庄市郎、 町田 幸一 藤沢 和裕
	2 たくみ文庫の企画			
	3 会員名簿の作成			

## 平成19年度 信州名匠会 年間スケジュール

A：学習 B：見学・実習 C：交流  
カッコ内は担当委員会

### 平成19年

- 6月27日(水) 第15回通常総会・講演会・懇親会(総務)
- 7月25日(水) 第1回研修会A(事業)
- 8月22日(水) 第2回研修会B(技術)
- 9月 5日(水) 親睦ゴルフ大会C(交流)
- 9月26日(水) 第3回研修会A(事業)
- 10月20日～21日(土、日) 研修旅行A、B、C(交流)
- 11月28日(水) 第4回研修会B(技術)
- 12月19日(水) 第5回研修会A(事業)

### 平成20年

- 1月23日(水) 新年会C(交流)
- 2月20日(水) 第6回研修会B(技術)
- 3月26日(水) 第7回研修会A(事業)
- 4月26日(土) 第8回研修会B、C(事業)
- 5月28日(水) 第9回研修会B(技術)
- 6月25日(水) 平成20年度通常総会

\* 研修会 場所：基本会場(株)宮本忠長建築設計事務所 時間：18:30 ~ 20:30

※ 研修内容・場所・日時については決定次第順次お知らせいたします。

## (財) 吉岡文庫育英会より本年度も研究補助金20万円

新建築社・吉田義男会長(信州名匠会顧問)が理事長を務める財団法人吉岡文庫育英会より本年も「研究補助金」として20万円が給付されました。給付は9回目で、総額190万円に。名匠会では育英会のご厚意と補助金の趣旨が末永く反映されるような活用方法を検討しております。心より感謝を申し上げます。

# ■十四ツ星1名、十三ツ星1名など34名の新認定者が誕生

## ～スリースター制度規認定者紹介～

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力をたがいに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設されました。研修会へ1回出席することに1単位を加算し、10単位で星1つを与えます。発足から8年を経て、今年度は十四ツ星認定者1名をはじめ一ツ星までの新規認定者34名が誕生し、通常総会において認定証を授与されました。貴重な研さんの場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加に、ますます期待が高まっています。

### ◆「スリースター制度」平成18年度認定者

(平成19年6月現在、五十音順、敬称略。○は今年度の新規認定書授与者)

☆☆☆十四ツ星1名☆☆☆  
○西澤嘉雄／(有)エヌ設計

☆☆☆十三ツ星1名☆☆☆  
○坂田守夫／坂田工業(株)

☆☆☆十二ツ星1名☆☆☆  
○堀誠／建築工房アカシヤ

☆☆☆十ツ星2名☆☆☆  
○岸本貴志／(株)本久  
五明良平／(株)五明

☆☆☆九ツ星1名☆☆☆  
○中村光敬／(有)中村木工所

☆☆☆七ツ星4名☆☆☆  
○水沢仁亮／(株)二見屋  
○高梨廣男／(有)高梨建築  
○西宮登喜男／(株)綿内瓦工業  
宮下恒夫／サンコー特機(株)

☆☆☆六ツ星6名☆☆☆  
○鎌倉良収／(株)鎌倉材木店

○小川明／建築工房空  
○高木茂実／松田産業(株)  
○鈴木隆／ルームデザインハウス  
吉田雅彦／(有)スタジオスペースツー  
宮本忠長／(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆五ツ星7名☆☆☆  
○渡辺昌祺／渡辺硝子建材(株)  
○宮澤郁夫／宮澤建築  
○竹内公夫／(株)ビホームテクノクリエート  
○町田幸一／(株)町田電機商会  
樋口豊／(株)ライフエンジニアリング  
山本耕平／長野サウナ販売(株)  
伊藤章／(有)アキ・プランニング

☆☆☆四ツ星4名☆☆☆  
○宮川裕行／三ツ友建築企画  
○久保敬幸／(株)さつき苑  
○岩井秀樹／岩井工業(株)  
増田幸雄／匠建設(株)

☆☆☆三ツ星10名☆☆☆  
○山中袈裟嗣／山中桐箱店  
○藤沢和裕／(株)山二

○佐藤満博／(株)二見屋  
○内山保／朝陽工芸(有)  
○山崎邦男／山崎工務店  
大庭修／(株)トリアン  
池内信二／(株)山翠舎  
倉橋英太郎／(株)倉橋英太郎建築設計事務所  
岡澤元彰／(株)本久  
海野政也／(株)海野鉄筋工業所

☆☆☆二ツ星11名☆☆☆  
○太田光雄／(株)岩野商会  
○常田亀久夫／(株)菅平土建  
○犬飼栄治／(株)シナノ大理石  
○出澤潔／出澤潔建築設計事務所  
○村越久子／雪しろ窯  
山崎慎一郎／(有)山崎屋木工製作所  
中村泉／(有)ビーイング  
荒井和夫／(株)荒井造園  
山田一忠／インテリア販売ヤマダ  
矢島建二／(株)矢島工務店  
関克弘／坂田工業(株)

☆☆☆一ツ星16名☆☆☆  
○平林幹久／(株)INAX長野営業所  
○藤田勇／藤田建築  
○小山巧／(株)田澤工務店  
○西沢広智／(株)宮本忠長建築設計事務所  
○井内猛男／(株)井内工務店  
五十嵐厚生／(株)井内工務店  
前島浅男／大工  
塚田廣実／塚田住建  
鳥羽英夫／長野サウナ販売(株)  
松下重雄／(有)みすゞ設計  
東出輝彦／スタンドグラス作家  
小林清英／(株)清蘭堂  
柳沢邦夫／(有)柳沢木工所  
坂戸雄世／(有)サカト産業  
左右田光／インテック左右田  
降幡廣信／(株)降幡建築設計事務所

## 平成18年度 信州名匠会 事業報告 (人数は参加者)

### 平成18年

- 7月 6日(木) 第14回通常総会・講演会・懇親会
- 7月27日(木) 第1回研修会「宮本忠長会長のおはなし」参加者 21名
- 8月 2日(水) 平成18年度 第一回理事会 平成18年度 信州名匠会の運営について
- 8月26日～27日(土、日) 研修旅行「佐渡島の建築見学」参加者 20名
- 9月19日(火) 「たぐみ」020 初秋号 発行
- 9月27日(水) 第2回研修会「近代土木遺産 親沢橋」の補修復元工事について」参加者 19名
- 10月12日(木) 親睦ゴルフ大会(信濃ゴルフ倶楽部) 参加者 14名
- 10月25日(水) 第3回研修会「日本刀の魅力」参加者 17名

- 11月23日(木) 第4回研修会「善光寺 三門保存修理工事現場見学会」参加者 26名
- 12月20日(水) 第5回研修会 「土の話」三和土・長七タタキなど 参加者 26名

### 平成19年

- 1月23日(火) 新年会(四川楼) 参加者 34名
- 2月28日(水) 第6回研修会「大工仕事 最近思うこと」参加者 16名
- 4月 7日(土) 第7回研修会「降幡副会長のお話」参加者 21名
- 4月28日(土) 第8回研修会「陶芸教室」参加者 21名
- 5月25日(金) 平成18年度 第二回理事会 平成19年度 信州名匠会の運営について
- 6月 9日(土) 第9回研修会「稲荷山養護学校見学会」参加者 20名

## 雪しろ窯陶芸教室(平成18年度第8回研修会) 宮本会長賞に平林幹久氏

平成18年4月29日、村越久子氏(創造学園大学芸術学部教授)のご指導のもと、「雪しろ窯」(上田市武石)にて恒例の陶芸教室が開かれました。会員のご家族など21人が参加して、和やかな雰囲気の中、制作に打ち込みました。常連の参加者は総会での展示を意識した大作を仕上げていました。総会会場では、参加者の作品が展示されました。今年も傑作には「宮本会長賞」、「村越久子賞」などそれぞれ賞が贈られました(敬称略)

- 宮本会長賞 平林幹久／(株)INAX長野営業所
- 村越賞 坂田守夫／坂田工業(株)
- 優秀賞 落合一視／畑八開発(株)長野事務所
- 奨励賞 市村友慎／(株)宮本忠長建築設計事務所
- 審査員特別賞 宮澤千恵子／宮澤建築



力作が並んだ総会の陶芸アートギャラリー

## 親睦ゴルフ大会 水沢仁亮さんが優勝

恒例の親睦ゴルフ会は昨年9月5日、信濃ゴルフ倶楽部に15人が参加して開かれ、(株)二見屋の水沢仁亮さんが優勝しました。準優勝は竹内公夫さん、1位は西宮登喜男さんでした。

参加者はつぎの通りです(敬称略、順不同)。水沢仁亮／(株)二見屋、竹内公夫／(株)ビホームテクノクリエート、西宮登喜男／(株)綿内瓦工業、落合一視／畑八開発(株)長野事務所、坂田守夫／坂田工業(株)、風間洋二／(株)角藤長野本部、吉田雅彦／(有)スタジオスペースツー、西沢広智／(株)宮本忠長建築設計事務所、町田幸一／(株)町田電気商会、山田一忠／インテリア販売ヤマダ、左右田昭道／(株)インテック左右田、平林幹久／(株)INAX長野営業所、鎌倉良収／(株)鎌倉材木店、西澤嘉雄／(有)エヌ設計、岸本貴志／(株)本久



## 会員の動向 (敬称略)

### ■所属の変更

個人会員：落合一視 畑八開発(株)→落合コンサルタント 〒380-0911 長野市稲葉1757-5 電話026-221-6146

### ■担当者変更

賛助会員：(株)角藤 風間洋二→長澤和芳(住所等変更なし)

# 静岡の自然と歴史、産業、そして新旧の建築を体感

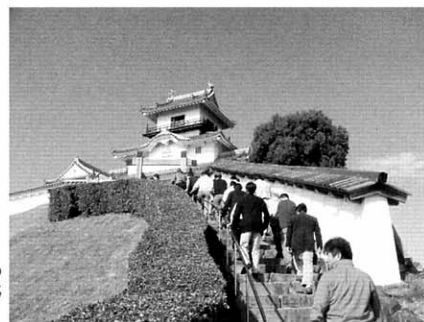
日程●平成19年11月10日～11日

## 平成19年度研修旅行「静岡県の建築見学」



掛川城にて

信州名匠会の平成19年度研修旅行は、11月10・11日、23名の参加により行われました。今回は白糸の滝（富士宮市）、浜松市楽器博物館をはじめ、建築では沼津御用邸記念公園、江川邸、掛川城、静岡県コンベンションアーツセンターなどを見学し、「建築とその背景にある自然と人々の営み」について改めて考える機会となりました。



快晴の秋空にそびえる掛川城の天守閣へ通じる石階段を登る一行

### 研修旅行日程

11月10日（土） 長野市－白糸の滝－沼津御用邸記念公園－伊豆の国市江川邸・葦山反射炉－静岡県立美術館－ホテル（泊）

11日（日） ホテル－静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップ－掛川城－浜松市楽器博物館－龍潭寺－長野市

### 平成19年度研修旅行 参加者名簿（23名。氏名・敬称略／所属）

坂田守夫／坂田工業（株）、西澤嘉雄／（有）エヌ設計、五明良平／（株）五明、久保敏幸／（株）さつき苑、吉田雅彦／（有）スタジオスペースツー、高梨廣男／（有）高梨建設、犬飼栄治／（株）シナノ大理石、五十嵐厚生／（株）井内工務店、鈴木隆／ルームデザインハウス、高木茂実／松田・南信（株）、伊藤章／（有）アキプランニング、竹内公夫／（株）ピホームテクノクリエート、西宮武久／（株）綿内瓦工業、白石大陸／サンコー特機（株）、小川明／建築工房空、鳥羽英夫／長野サウナ販売（株）、山崎邦男／山崎工務店、内山保／（有）朝陽工芸、中島重雄／中島建築、松本祐／AIU保険会社、事務局として西沢広智／（株）宮本忠長建築設計事務所、岸本貴志／（株）本久、太田達也／（株）新建新聞社

## 定例研修会●Report

（平成19年8月～12月）

### 平成19年度 第1回研修会 「建築士法改正と資格者の責務」



8月1日（水）

講師：出澤潔氏（出澤潔建築設計事務所代表・長野県建築士会会長・信州名匠会理事）

参加者：25名

#### 『建築士』とは

本会理事の出澤氏は、設計事務所を主宰しながら現在は長野県内の建築士資格者団体である長野県建築士会の会長を務められ、6月に施行された建築基準法および建築士法において尽力されてきました。研修会では改正までの経緯をお話いただき、また現在問題視されている点についてご説明いただきました。

改正建築士法では「建築士」の受験資格を「建築の設計」に従事した者に限定しようとしていること。それでは建設現場で経験を積み、建築士を目指す者の道を閉ざしてしまうと出澤氏は語り、一連の偽装問題にも言及して「『建築士』とは何なのか」を問い直さなくてはいけないと、ご自身の信念をお話くださいました。

### 平成19年度 第2回研修会 「パリの民家移築工事を終えて」



8月29日（水）

講師：宮澤 郁夫（大工棟梁・信州名匠会理事）

参加者：23名

#### 日本の文化を紹介する架け橋に

事の始まりは1970年に始まった開田村の畑中たみさんと、フランスの民俗学者ジャーヌ・コビー氏との交流でした。畑中さんが住んだ民家を丸ごと日本の民族、文化を紹介するために、パリへ移築する計画に宮澤さんは1995年から携わり、昨年3月に博物館内に復元しました。

文化の違いなのか、フランス人の大らかな仕事の進め方を楽しく伝える宮澤さんの姿に、普段のお仕事とは異なってはいても大工として、やり遂げた充足感を感じることができました。これまでの写真、現地での復元の様子の写真から、スライドの構成、パソコンの操作まで、何でもこなす宮澤氏に会員一同驚く場面もありました。

## 平成19年度 第3回研修会 「新伝統木構法 勉強会」

10月6日(土)  
講師：増田一眞(増田建築構造事務所代表)  
三浦保男(新伝統木構法施工大工棟梁)  
倉橋英太郎(倉橋英太郎建築設計事務所代表・信州名匠会個人会員)  
参加者：19名

### 在来工法は本当に日本在来のものか



新伝統木構法によって建築された「天理教桔梗ヶ原分教会」の見学を行い、その後同じく同構法で補強と増築を行った倉橋氏のご自宅で勉強会を行いました。

新伝統木構法とは増田氏が提唱する構法です。日本の伝統木造の

貫をはじめ建具までのすべての要素を構造抵抗要素とする総持ち構造の考えに、規格材の利用も鑑み四寸角材を組み合わせた大梁や、土台部分に改良を加えたものであえて「新」を頭つけています。

増田氏は構造の専門家であり、日本の木造建築文化を研究し、木造本来の力の伝達に優れた構法を研究されてきました。そして現在「在来工法」と呼ばれている筋かいによる木造構法が、実は戦後の住宅金融公庫仕様によるもので、決して日本在来の構法でないこととお話いただきました。

現状において、このように優れた構法の現実に際して構造計算上のモデル化が困難であり、また法規が筋かいと金物の使用を前提として制定されている点、またこうした構法を実践できる設計者、大工の不在が大きな問題である点を考えさせられるものとなりました。

## 平成19年度 第4回研修会 「善光寺本堂再建三百年 善光寺歴史散歩」

10月24日(水)  
講師：若麻績修英(善光寺臈僧 鏡善坊住職)  
参加者：19名

## 風林火山の影に

若麻績氏は平成18年度総会の際にご講演をいただきました。19年は善光寺本堂再建三百年の年にあたり各種記念行事が行われる多忙なか、歴史散歩と題してお話いただきました。

今回は善光寺を中心とした長野の街の成り立ちと、現在話題の大河ドラマ「風林火山」にちなんでお話し、また近代の善光寺界隈の出来事と楽しい話題が見つかることなく、会員は興味深く聞き入っていました。

戦国の世、善光寺は最も不幸な時代だったようです。時の権力者により善光寺ご本尊は甲斐、美濃、尾張、駿河、再度甲斐へ、そして京都へとたらい回しにされて44年もの長きにわたり流浪の日々を過ごされたそうです。甲越それぞれが進軍の度に長野は荒廃していったと若麻績氏は言いました。華々しいドラマの影にある長野の民衆の暮らしを、暮らしに根差した善光寺さんを通じて知る研修会となりました。

## 平成19年度 第5回研修会 「木材の基礎知識と県産材の利用に向けて」

12月19日(水)  
講師：吉田主任研究員(林業総合センター木材部)  
久保田主査(長野県林務部信州の木利用課)  
参加者：32名

### 木を知って、できること

林業総合センターの吉田主任研究員より、木材の含水率に着目して木の狂い、収縮についてお話をいただきました。会員には普段の仕事の中で木材の含水率を検査している方も多いと思いますが、吉田氏は正しく含水率を知ってそれによる収縮の度合いを知れば、収縮によるクレームを軽減できると言えます。収縮の「逃げ」を正しく確保して施工すれば伸びによる浮き、縮みによる隙間を最小限に抑えられると説明されました。

また割れについて木の育ち方、年輪の様子、乾燥状況などの説明から、割れの出にくい乾燥技術まで、木材を活用していく上で欠かせない技術研究の様子をお話いただきました。

後半は久保田主査より、九州の山から見た長野の林業についてお話しいただきました。九州の山林を見てまわり、そこから長野の林業に対して足りないこと、推進すべき課題を考察されていました。九州への旅はまったくのプライベートとのことで、プライベートを利用して山林を見て歩く姿に信州の山を、木を愛でる姿勢を強く感じました。



## 編集 後記

大変お待たせをいたしました「たくみ No.21」がようやく完成いたしました。事務局の不手際から大幅に発行が遅れ、また一部期間につきましてはご報告が出来なかった旨、心よりお詫びいたします。今年度より編集委員会の立上げを行い、今後は編集委員にて引き続き「たくみ」の発行を手掛けて参ります。これから一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。